

自作の食品や

ILCをPR

東京で花巻農高実習

花巻市葛の花巻農高(軍司悟校長、生徒348人)の2年生5人は16日、東京・銀座のいわて銀河プラザで販売実習を行った。自分たちで作った食品の販売に合わせ、本県が誘致を目指す国際リニアコライダー(ILC)も説明した。生物科学科と食農科学科



自分たちで育てたリンゴを販売する小森田航さん(左)

の生徒が参加。生徒が育てたリンゴのジュースやジャム、コメなど計10品にILCのPRロゴを貼り、ILCを解説するちらしを添えて販売した。

リンゴなどを購入した茨城県つくば市の池田豊さん(70)は「添加物がなく自然たっぷりの製品で、しかも安い。生徒が地元のために

頑張るのは良いことだ」と感心していた。

生物科学科の小森田航さんは「緊張したが、自分の育てたリンゴを買ってもらってうれしかった」と充実の表情を見せた。

同プラザでの販売実習は、同校が県のILC推進モデル校の指定を受けたことから本年度開始した。